

ちいしんぶん 8.1

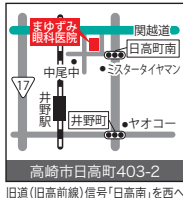
2025(令和7) No.1442

■発行所／ライフケア群衆(株)高崎市小八木町312-15ビジネスパーク小八木 ☎027(370)2262 ☎027(370)2263
ちいしんぶんは、旧高崎市内の約9割のご家庭や事業所のポストに無料で投函させていただいています。新規お届けもしくはご不要等、配布に関する件は上記までご連絡下さい。

まゆずみ眼科医院

●日帰り白内障手術
●神経眼科
●ドライアイ
●コンタクトレンズ

診療時間
午前 8:45～12:30
午後 15:00～18:00
休診日
木曜日・日曜・祝祭日



初診・再診ともに電話での予約可能 ☎027-388-8461

はるなくだもの街道に「食のテーマパーク」 山木農園 3代目夫妻の挑戦

採れたての梨や梅、プラムをはじめ、トウモロコシ、カリフラワーなど野菜のフレバーも並ぶ。ここは、はるなくだもの街道にある人気ジェラート店「アルペロ」。近くにはパン屋やワイナリーも建つ。この一帯の総称は「フォレストフードカンパニー」。山木農園三代目、山木久利さん、恵美さん夫妻が手がけたものだ。果樹農家の減少が進むなか、農産物の加工や販売、交流の場づくりを通じて地域に新たな人の流れを生み出そうとしている。

ジェラートに込める優しい記憶

山木夫妻は2005年、異業種から実家の農家の後継ぎとなった。「その中でさまざまな問題点が見えてきたんです」と恵美さん。

国道406号沿い、はるなくだもの街道は、かつて200軒以上の果樹農家が軒を連ねる桃や梨の一大産地だった。現在は半数以下に減り、「農業の担い手の高齢化や耕作放棄地の増加

が深刻な課題となっています。直売所に足を運ぶ客も高齢化し、農業の収益性は低下傾向にあります」と久利さん。

新しい一歩として2010年、夫妻が立ち上げたのはジェラート店「アルペロ」だった。

獲れたての果物や野菜、ハーブを使用。素材ごとの風味を生かしながら、常時20種類以上のフレバーを提供する。北軽井沢の酪農家から仕入れる

には、ジェラートに対する特別な思いがある。かつて訪問看護師として終末期医療に携わっていた。患者が最後に口にする食べ物としてアイスクリームに何度も助けられた経験があると

いう。「飲み込めなくても口の中で自然に溶けてくれる。命のそばにある食べ物だと感じていました」と話す。

加工と交流で地域に活気

アルペロの開設から3年後の2013年には、久利さんが手づくりでログハウス「アルペロ、コラボハウス」を敷地内に建てた。毎月15日には「二五市緑(いちごいちち)」と名付けた展示販売会を開催。地元の人々が参加し、農と手仕事の接点をつ

けている。2016年には、カフェ兼加工所「レガロレガロ」を立ち上げた。現在は店舗営業を休止し、加工品製造に特化。形や色などの理由で出荷できない

「いまはまだ夢の途中。食のテーマパークづくりは生きている限り、続けていきたい」と恵美さん。夫妻の想いは熱い。



「アルペロ」店内で山木久利さんと恵美さん



芳ばしい香りに包まれる「フォレストフードベーカリー」



思いがけない味の組み合わせを楽しめる



「アルペロ、コラボハウス」は木が温かみあふれる



ワイナリーで生まれた5種類のワインたち

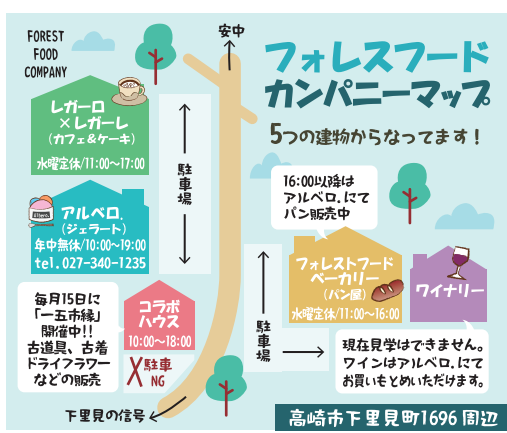
「くだもの街道に人が訪れるきっかけとなれば」。夫妻は、食を通じて地域と次世代をつなぐ拠点としての可能性を模索している。

2023年には、ベーカリーとワイナリーを開業。ベーカリーでは、農園で採れた梨や柚子から自家製酵母を起し、天然酵母パンを焼き上げる。約20種類が並ぶ中でも、ふわふわの酵母ドーナツは特に人気を集めている。ワイナリーでは現在、長野や福島の農園から仕入れたブドウで5種類のワインを醸造中。今秋にはいよいよ自社農園に1.4ヘクタールのブドウ畑を整備し、本格的なワインづくりに着手する予定だ。

次のステージはパンとワイン

梨を使い、ジャムやカレー、カレーパンなどの商品を生み出している。

「せっかく育てた果実を無駄にしたいくない」と話す恵美さん。食品ロス削減やSDGsの視点も意識し、地域資源の有効活用に取り組んでいる。



群馬交響楽団 × 高崎芸術劇場 GTシンフォニック・コンサート Vol.4

LEONARD SLATKIN

レナード・スラットキン
オール・アメリカン・プログラム

巨匠、初来演。

2025年 12月7日【日】 14:00開演 (13:00開場) 高崎芸術劇場 大劇場

高崎芸術劇場
TAKASAKI CITY THEATRE
JR高崎駅東口から徒歩5分 ☎370-0841 高崎市栄9-1

◆チケットご購入

Web ■高崎芸術劇場メンバーズ限定
【登録無料】
(24時間受付)

電話 ■高崎芸術劇場チケットセンター
027-321-3900
(10:00～18:00/無休)

窓口 ■高崎芸術劇場2Fチケットカウンター
(10:00～18:00/無休)
ほか高崎市内9か所の高崎市施設プレイガイド

現代を代表する米国出身の指揮者スラットキン。世界各地の名門楽団のポストを歴任し、演奏水準を飛躍的に引き上げてきた、まさにオーケストラを知りつくした巨匠がついに群馬交響楽団と共演します。披露するのは、自国アメリカの名作。2025年末、注目のステージをお見逃しなく。

出演 レナード・スラットキン(指揮)
アレクセイ・ヴォロディン(ピアノ)
群馬交響楽団

曲目 パーンスタイン / 《キャンディード》序曲
ガーシュウィン / ラプソディ・イン・ブルー
マクティアー / サークレット
コーブランド / バレエ音楽《アラバチアの春》組曲

料金(税込) 全席指定 S席 5,000円(U-25 2,500円) A席 4,000円(U-25 2,000円)
B席 3,000円(U-25 1,500円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※U-25料金は、公演当日25歳以下の方が対象です。当日、年齢のわかる身分証明書をご持参ください。
※車椅子座・介助席のご購入は高崎芸術劇場チケットセンター(TEL:027-321-3900)まで電話でお申し込みください。

好評発売中!